



城原川ダム等の小中学生出前講座 **—初めての試み—**

ダム対策課／農村整備課

下流地域の人々の暮らしや命を守るための取組みを将来を担う子どもたちに知って欲しい——

市内の小中学校で**出前講座**を行っています

城原川
ダム

講座内容

田んぼ
ダム

クリーク
事前排水

✓ 城原川ダムってなあに？
✓ ダムにかかわる地元の苦勞

【最終回】 10月3日(金)14時～ @神埼中学校



ダムの整備による上流と下流の状況

地域	上流地域 <small>野田町</small>	下流地域 <small>神城町・千代田町</small>
位置	川の上流の山や森の多い場所	川の下流の平地のまちや田んぼ・畑など
ダムをつくることとなるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ダムを造る場所や水を貯める場所(水没地)にある家や農地、道路を別の場所に移して作り直すことになる 森林の手入れが必要 ダムを使った観光などができる 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水から守られて安心して生活ができる ダムで貯めた水を使って生活がよくなる 飲み水 農業用水・工業用水 など




ダムをつくるために、住んでいた場所を離れる人がいることを初めて知りました。

ダムができることで、私たちが安心して暮らすことができるようになりますと学びました。




ダムにかかわる地元の苦勞

- 城原川ダムの計画が始まったのは約50年前。
- その間、ダム建設予定地に住む人々は、ダムはできるのか、家を移転しなければならないのか、といった問題にずっと悩まされてきました。
- 現在、水源地域やダムを造るために必要な道路土地に住む皆さんが、安心して新たな暮らしができるように、国・県・市が協力して進めています。



水源地域の人々のくじゅうの決断によりダムは造られます。



出前授業で子どもたちが「感じたこと」や「思ったこと」を城原川上下流地域の方々が集う場で発表してもらう予定です